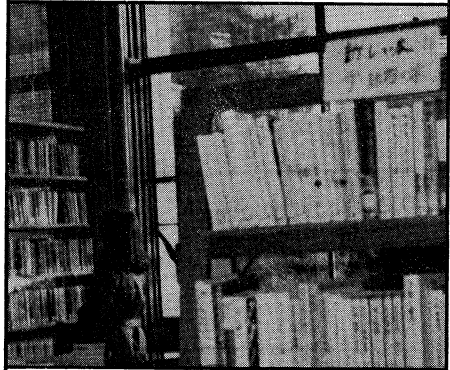


成人の日におくる 一冊の本

県立図書館館外奉仕課長
赤 座 信 道



図書館コーナー

「日本語と日本人」 鈴木孝夫 講談社 一一〇〇円。日本人の心と言葉の接点を探る講演集。

「バックミラーの証言」 柄沢好三郎 日本放送出版 一二〇〇円。柄沢氏の語る波乱の歲月、そして宰相たち。

「高校生日記」 加藤諦三 大和書房 八二〇円。三十前を振り返る、著者自身の青春告白記。

「女性のための文章教室」 後藤明生 中央公論 八〇〇円。考えていることを正しく文章で伝えるには……。

「漢字の常識」 原田種成 三省堂 一二〇〇円。大人が漢字の正しい知識を知るために。

「教師のための一日一名言」 皇至道 玉川大出版 一六〇〇円。感動の一言 勇気百倍の名言三五五語。

「入門 歎異抄の読み方」 ひろさちや

日本実業出版 九八〇円。親鸞の考え 教えの本質を興味深く明かす。

「本を読む」 中村真一郎 新潮社 一一〇〇円。本から何を読みとるかを説いた文学的読書論。

「男どき女どき」 向田邦子 新潮社 九五〇円。人間への愛情と洞察にみちた珠玉の遺作集。

「現代女性の生き方」 小森健吉 ミネルヴァ 一六〇〇円。男女平等の道を探る人間学としての女性学。

「情報の読み方」 上原敬之典 P H P 研究所 九八〇円。何気ない情報にこそ時代を読むカギがある。

「コンピュータ社会のアクセス」 土井 寛 P H P 研究所 九八〇円。コンピュータ社会の「危機管理」を説く名著。

「30才からのリーダー学」 宮本 裕

産業能率大出版 九八〇円。若者不信 論を否定した第一線活性化への指針。

「続新しい男の時代」 ゴールドバード P H P 研究所 一三〇〇円。男が男として、生きる今風の男女関係を問う！。

「足と煙草」 中河与一 宝文館 一八〇〇円。「天の夕顔」の著者ひさびさの恋愛小説集。

「女の人差し指」 向田邦子 文芸春秋 九二〇円。追悼の意をこめて刊行する最後のエッセイ集。

「現代人口論」 岡崎陽一 P H P 研究所 九八〇円。出生率の低下と高齢化が日本に打撃を与える。

「現代の家族」 布施晶子他 青木書店 一八〇〇円。社会状況の変化に即応した家族の創造を追求。

「同時代への挑戦」 色川大吉 筑摩書房 一八〇〇円。今、何をなすべきかを歴史家として発言する。

「さりげない話」 外山滋比古 講談社 一二〇〇円。一晚一話 面白く味わい深い話百余編。

「日本人の社会病理」 山本七平他 講談社 一三〇〇円。現代日本の抱える諸問題を解明し、分析する。

「入門 論語の読み方」 村山 孚 日本実業出版 九八〇円。人生や仕事などのあり方に結びつけて説く。

「正法眼蔵」を読む：現代を生き抜く「〇〇の知恵」 秋月龍珉 P H P 研究所 九八〇円。道元「正法眼蔵」の至言が甦る、初の名言集。

「瞑想について―不安からの解放」 門脇住吉 創元社 一〇〇〇円。幅広い観点から瞑想の現代的意義を探る。

「行政改革―地方の選択―」 共同通信 二二〇〇円。行政改革に対する全国知事のホンネの集大成。

「学長の平日と休日」 向坊 隆 東大出版 一八〇〇円。東大前総長の退官を記念して刊行する随筆集。

「女と男の新しい人間関係」 西村洋子 東洋経済 九八〇円。男と女の新しい仕事関係確立のアドバイス。

「現代日本一〇の選択」 吉田和男 東洋経済 一三〇〇円。大蔵省若手研究官の日本経済論。

「結婚の向こう側」 駒沢喜美 主婦と生活社 八八〇円。結婚とは何か？その本質とあり方を説明。

「ヨーロッパ・アメリカ汽車の旅」 青木晴夫 講談社 一八〇〇円。汽車を乗り継ぎ、欧米の旅を満喫する実践記。

二回に亘ってこの一年間に出版されたもののうちから、若人に読んでほしいと思うものをリストアップしてみました。あまり専門的な分野等はさけてエッセイ的なもの、時事的なものを、硬軟とり混ぜて、二万数千点の出版物の中から、選択の一つの目安にしたいだければと、コメントを添えましました。